

3 調査研究の概要

3 調査研究の概要

3.1 実証実験全体概要

本プロジェクトは、IT技術を用いてケア対象者へのサービスを向上し、市民に高い Quality of Life (QOL) を提供できる都市環境、もしくは都市機能を創造することを目標としている。その実現のために、IPv6 通信基盤を利用して、下記の4つのプログラムを提案し、実証実験を行った。このうち e!介護プログラムにおいては、目標達成のために目的および実証内容をさらに詳細化および拡張し、2つのプログラムとして実証実験を行った。さらに、この実験状況を広く「市民に対してPRするための活動」を行い、市民全体の QOL に対する理解度を向上させることを目的として、新たに「e!市民健康講座プログラム」を行った。

(1) e!ヘルスアッププログラム

e!ヘルスアッププログラムは、中高年を主とした市民全体に対する介護予防のために、運動器具を用いた手軽な体づくりが行えるようにすることを目的としている。本実験では以下の3点の実現に絞って、実証実験を行う。

利用者が継続的な健康づくりに手軽に取り組める。

医師やトレーナーが継続的に利用者個々の様子を把握できる。

必要な時に指定した時間制約を満たし、双方向でコミュニケーションが取れる。

e!ヘルスアッププログラムでは、エアロバイク等の運動機器を IPv6 ネットワークに接続し、認証された個人の運動履歴を遠隔地にあるサーバに蓄積することで、遠隔地にいるトレーナーがトレーニングに関する適切なアドバイスを行うことのできる環境の構築を目指す。具体的には、以下の6つの機能を備えたシステム群を構築し、これによって個人が家庭でトレーナーとのコミュニケーションをとりながら運動プログラムに取り組むことができたかどうかを評価する。

1. IPv6 プラグアンドプレイ機能による簡便な機器導入機能
2. IPv6 マイクロノードによる対称なコミュニケーション機能
3. ルータおよびサーバの自律的な制御による QoS 通信機能
4. 運動機器の利用者を特定するための、簡便な利用者認証機能
5. 医師やトレーナーが有効なアドバイスを行うための、個々の利用者のトレーニング状態を把握できる機能

6. 医師やトレーナーあるいは利用者間で情報を共有するための、双方向コミュニケーション機能

(2) e!ファミリーケアプログラム

e!ファミリーケアプログラムは、高齢者とその家族の QOL 向上を目的としている。その要素として本実験では以下の 2 点の実現に絞って、実証実験を行う。

本人の安心感向上による活動の活性化
家族の安心感向上による行動自由度の向上

無線 LAN 環境、ブロードバンド網を IPv6 による透過的かつ普遍的なコミュニケーション環境によって高齢者とその家族が安心して活動できる環境の構築を目指すプログラムである。e!ファミリーケアプログラムでは、以下の 4 つの機能を備えたシステム群を構築し、このシステムによって高齢者とその家族の活動パターンがどのように変化するかを分析・評価する。

1. 人間の移動に対して透過的な通信網の構築
2. 安全な通信路の実現
3. 高齢者が元気にすごしていることがわかる情報の収集
4. 高齢者がアテンションを必要としているかどうか分かる仕組み

(3) e!介護プログラム

e!介護プログラムは、高齢者とその家族の QOL 向上を目的としている。その要素として本実験では以下の 3 点に絞って、実証実験を行う。

介護を受けるケア対象者の活動の活性化
家庭における介護の質の向上
介護する家族の行動自由度の向上

具体的には無線 LAN 環境、ブロードバンド網を IPv6 によってシームレスに結びつけると共に、暗号化と認証技術によって、介護を必要とする高齢者とその家族ならびにケアスタッフが安全にいつでもコミュニケーション可能な環境を提供する。e-介護プログラムは、主として高齢者および家族を対象とする実験と、高齢者、その家族および高齢者を取り巻くケア専門家（ケアスタッフ）を対象とする実験に分かれるため、以下のとおり(A)(B)2つのプログラムに分かれて実証実験を行った。

(A) e-介護プログラム

e-介護プログラムは、以下の5つの機能を備えたシステム群を構築することによって、介護を必要とする高齢者の活動が活性化するか、また、より高度な介護を提供できるかを検証するプログラムである。

1. 常時接続環境における情報収集機構
2. 安全な通信路の実現
3. 高齢者の行動レベルを示し、元気に過ごしていることがわかるわかる情報の収集
4. 高齢者がアテンションを必要としているかがわかる仕組み
5. 高齢者とその家族に対して介護予防のための情報や介護に必要な情報を提供し、家庭における介護の質を向上させる仕組み

(B) e-ケア情報セキュリティプログラム

e-ケア情報セキュリティプログラムは、以下の3つの機能を備えたシステム群を構築することで、介護が必要な高齢者を取り巻く様々なケアスタッフおよび被介護者本人が、非介護者に関するプライバシー情報を安全に共有し、より高度なケアの提供が可能かを検証するためのプログラムである。

1. ケア対象者の健康や体調に関するプライバシー情報を、訪問したケアスタッフが迅速に取得できる機構
2. ケア対象者本人の承諾プロセスを経て、ケアスタッフが情報を取得できる機能
3. ケア対象者に関する情報へのアクセスにあたって、データを安全にやりとりするための機能

(4) e!スキルアッププログラム

e!スキルアッププログラムは、ホームヘルパー2級の有資格者を対象にスキルアップ学習プログラムを実施し、提供する介護サービスの質の向上を目的とする。

IPv6を基盤としマルチキャスト技術、動画配信技術、安全な通信路を確保するIPsec技術を利用して、ケアに関するスキルアップ教育コンテンツを提供することで、ケアスタッフがより高度なケアに関する知識および技術を習得できる環境を構築するプログラムである。e!専門家スキルアッププログラムは、以下の3つの特徴をもつ学習プログラムの提供によって、在宅ケアに関する知識および技術を遠隔で学習する環境を構築する。

1. Certificate 制度を提案、導入し、インセンティブを与えることで参加者を増

やす。

- 30分程度の講義形式4回程度で1項目をカバーするような各項目にわけた短期間のプログラムとし、短い時間で学習ができるようにする。
- 実演および実習が必要な内容の場合は、マルチアングルストリームを用いた映像を複数の場所に同時に配信できる仕組みを導入し、様々な角度から実演・実習を見ることができる環境を構築する。

(5) e!市民健康講座プログラム

e-市民健康講座プログラムは、本実証実験の仕様として含まれているプログラムではない。しかし、本実証実験の円滑な実行のためには、広く市民に対して本実証実験の目的や重要性、さらにはITがケアやQOLの向上のために役立つものであることをPRするための場が必要であると考え、e!市民健康講座プログラムを新たに立ち上げた。e!市民健康講座プログラムは、遠隔学習を実現するためのオンデマンドで動画の配信を行うことのできる機能を備えたシステムによって、一般市民がケアに関する知識や本実証実験についての知識をインターネットを利用していつでも必要なときに取得できる環境を構築するためのプログラムである。

本実証実験では、これら6つのプログラムについて藤沢市をフィールドとして行った。藤沢市民に配布したパンフレットと本実験の仕様上の対応は下記の通りである。

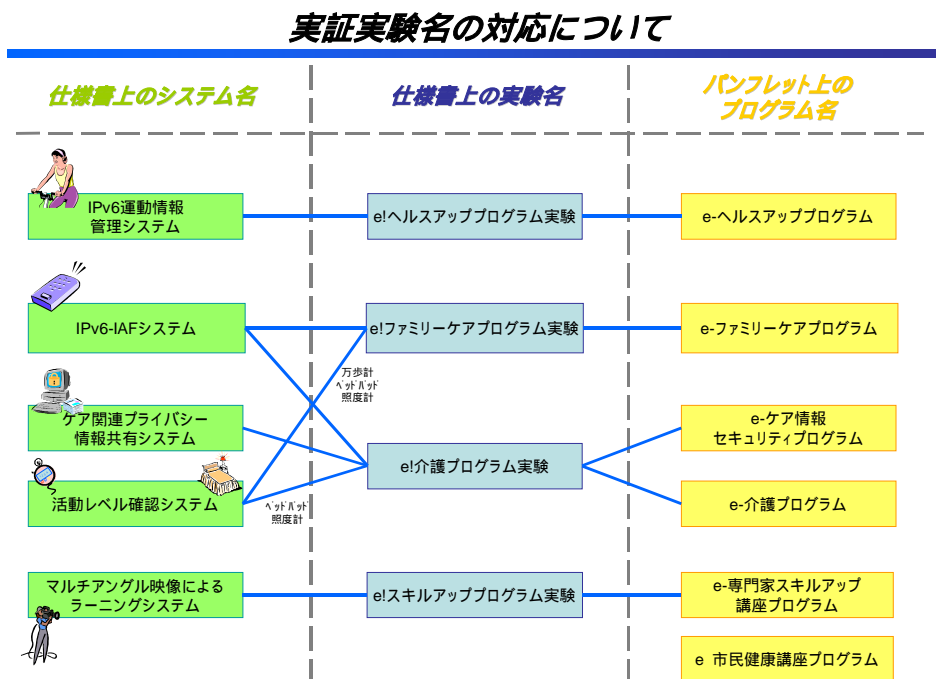


図 3.1-1 実証実験名の対応について

3.2 プロジェクトの全体構成

本プロジェクトは、e - ケアタウンふじさわ実証コンソーシアムによって運営されている。コンソーシアムは、藤沢市、財団法人保健医療財団、慶應義塾大学、NTT 東日本の4者からなっている。

それぞれの役割は、下記のとおりである。

- (1) 藤沢市：実証実験協力（市民への広報活動、ニーズ調査、実証実験の支援、無線拠点支援）
- (2) 財団法人保健医療財団：市民モニター募集、実証実験協力（運用支援、成果とりまとめ支援、無線拠点支援）
- (3) 慶應義塾大学：実証実験プログラム立案、機器開発・システム開発、ビデオ・コンテンツの作成、実証実験運用（データ取得・解析・評価）、成果とりまとめ
- (4) 東日本電信電話株式会社：実証実験プラットフォーム(LAN 構築・光回線敷設等)の構築、QoS 検証、成果とりまとめ

最高意思決定機関として運営委員会を持ち、運営委員会にアドバイスするアドバイザリー・コミッティを置いた。

運営委員会の下部組織に、実証実験の決定機関である実行委員会を置き、その下に各実証実験グループを位置づけた。またプロジェクト全体の推進と支援のため事務局が置かれた。

運営委員会は10月と2月に開催した。運営委員会とは別に4組織からなる定例会を月1回、実証実験グループは随時会合をもつことで、互いに情報を共有し、プロジェクトを推進させることができた。

e-ケアタウンふじさわ実証コンソーシアム組織

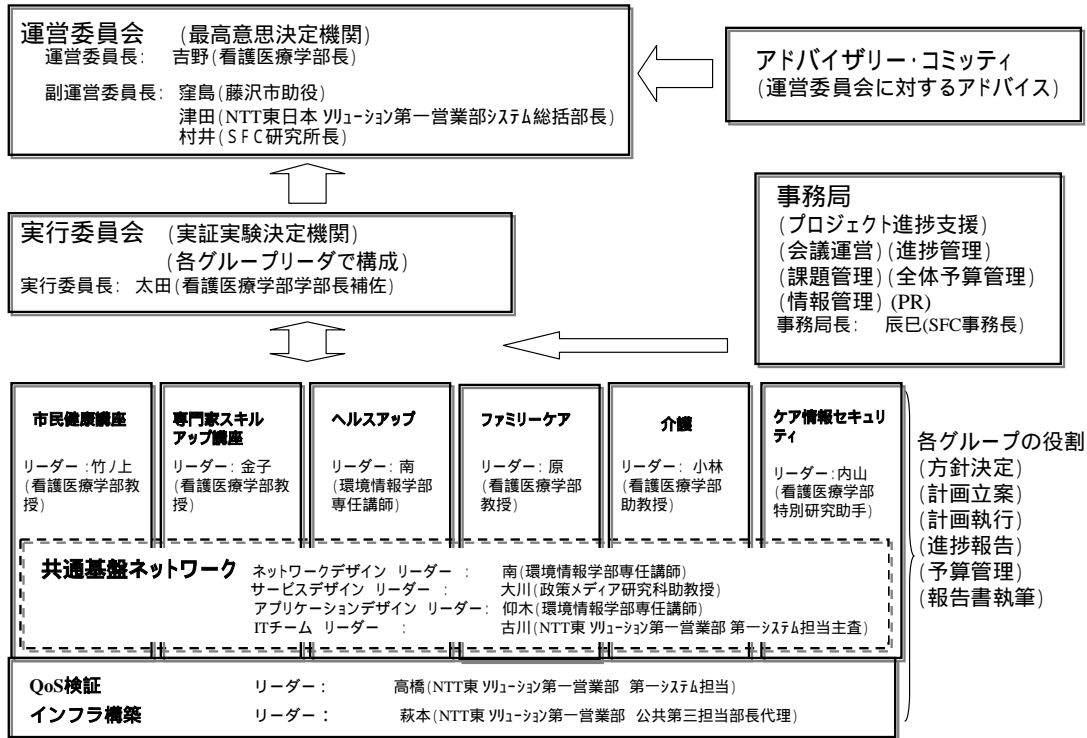


図 3.2 - 1 実証コンソーシアム組織図

3.3. 実施体制

3.3.1. e-ケアタウンプロジェクト 実施体制

実証実験の運用・維持のため、e-ケアタウンふじさわ実証コンソーシアムの各組織は、次のような役割を担った。この内容は、実証コンソーシアムが発足した2002年10月9日の第1回運営委員会で、規約（添付3.3-1）とともに承認され、本プロジェクトの実施体制が確立した。

市民を対象モニターとする実証実験プロジェクトはすでにいくつも存在しているが、介護を要する高齢者とその家族を対象に最先端の技術を実証するプロジェクトは、稀な存在である。本プロジェクトを推進するにあたって、4組織によるコンソーシアムを設立し運営することで、下記の重要な要素がプロジェクト推進に貢献することを期待した。

- ・ 地域自治体の協力と連携
藤沢市はもとより、市の保健医療を支える財団法人保健医療センターの協力を得て、市民への告知、モニター募集を行うこと。
- ・ 介護分野における専門家の知識の活用
慶應義塾大学看護医療学部および財団法人保健医療センターの介護福祉分野における知識とノウハウにより、本プロジェクトの意義を生み出し、基礎的なアプリケーションおよびコンテンツを創造すること。
- ・ 先端技術分野における専門家の知識の活用
慶應義塾大学環境情報学部による次世代インターネットに対応した機器開発とコンテンツ配信システムの開発、およびNTT東日本による広帯域ネットワークの構築が、最先端のインフラを支え、介護福祉という新しい分野におけるシステムの創造が行えた。
- ・ 行政や政策分野における専門家の知識の活用
藤沢市、および関係組織、慶應義塾大学総合政策学部、政策・メディア研究科の専門家により、本プロジェクトの成果から、社会の仕組みや政策への提言を導くこと。

本プロジェクトにおける、実証実験の実施に関する各組織の役割は以下の通り。

(1) 藤沢市

実証実験協力（市民への広報活動）
同（ニーズ調査）
同（実証実験の支援）
同（無線拠点支援）

(2) 財団法人藤沢市保健医療財団

市民モニター募集
実証実験協力（運用支援）
同（成果取りまとめ支援）
同（無線拠点支援）

(3) 慶應義塾大学

実証実験プログラム立案
機器開発・システム開発
ビデオコンテンツの作成
実証実験運用（データ取得・解析・評価）
成果取りまとめ・報告書作成

(4) 東日本電信電話株式会社

（NTT東日本 法人営業本部）

総合調整・進捗管理・問題管理、定例連絡会の開催
総務省提出成果報告書の取りまとめ

（NTT未来ねっと研究所）

QOS 検証（データ取得・解析・評価）
成果取りまとめ・報告書作成

以上の体制を図に示したものが、図 3.3 - 1 プロジェクトフォーメーションである。実証コンソーシアムの4組織は、9月以降、月1回の定例報告会を開催し、実証実験の実施に向け、協議を重ねた。この定例報告会以外にも、各プログラム実験実施のため、必要な個別ミーティングを頻繁に開き、常に連携を取りながら、当プロジェクトを推進した。

「インターネット基盤技術の高度化（e！プロジェクトの推進）に関するシステムの
 実証及び調査研究に係わる請負
 - 介護福祉分野におけるITの高度利用の実践について - 」プロジェクトフォーメーション【実証実験】

参考資料

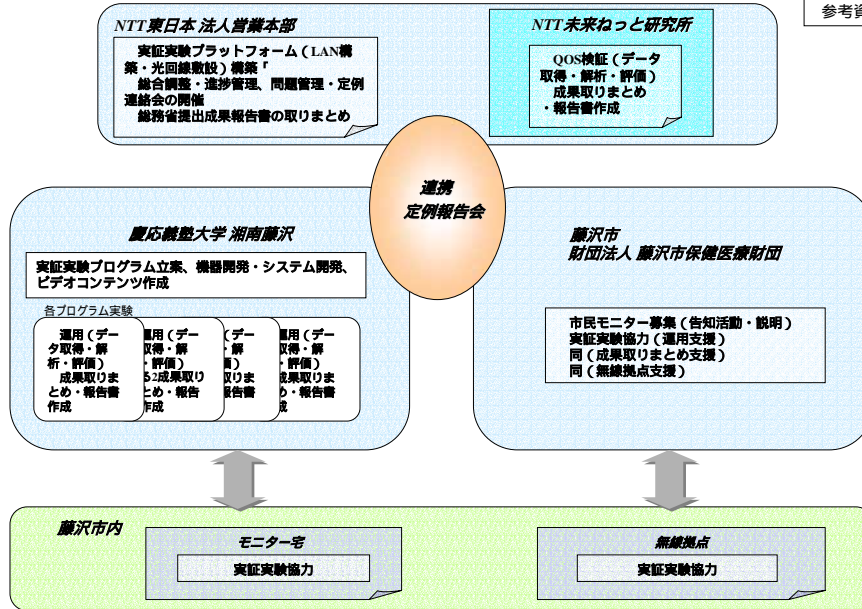


図 3.3-1 プロジェクトフォーメーション

3.3.2. e-ケアタウンプロジェクト モニター対応

e-ケアタウンプロジェクトでは、市民モニターに参加して頂き、実証実験を行うため、モニター対応の体制にも、十分に配慮した。

(1) モニター募集開始時

e-ケアタウンふじさわ問い合わせ窓口を、慶應義塾大学SFC研究所内に設けた。電話やメールによる質問は、実証コンソーシアムの事務局担当者が一次受信し、必要に応じ、各実証実験グループリーダー、各組織への連絡、質問者へのフィードバックを行った。

モニター公募にあたり中心的な役割を果たした、財団法人 藤沢市保健医療財団は、モニター候補者に対し、プロジェクトの趣旨・プログラムの概要に関する事前の説明を行った上で、同財団、慶應義塾大学担当教員、NTT東日本3者によるモニター宅訪問説明日を設定した。

(2) 実証実験開始後

市民モニターの方々からのプログラム内容への質問や、PCや機器操作に関する疑問点に対する回答は、(1)の慶應義塾大学SFC研究所内の事務局担当者が継続して対応し、必要に応じて、各実証実験グループリーダー、各組織への連絡、質問者へのフィードバックを行った。

慶應義塾大学では、実証実験の担当教員、事務局担当者だけでなく、誓約書を提出した学生スタッフも参加し、モニターをサポートする体制で臨んだ。誓約書では、「市民モニターのプライバシーに類する事柄(氏名、住所、電話番号、家族構成、介護の状況など、訪問等の際に知りうる情報)」を絶対に口外しないことが約束され、モニターのプライバシーが守られるよう、配慮された。(添付3.3-2 参照)

実験開始前、問い合わせ窓口の対応時間は、月～金 10:00～12:00、13:00～17:00であったが、土日を含め、この時間外にも対応可能となるよう、専用のPHSを用意し、サポートを行った。

緊急時にそなえて、図 3.3-2 のような緊急連絡網を用意した。ただし、今年度は、緊急に対応しなければならない事態は起こらなかった。

e-ケアタウンプロジェクト モニター対応連絡網

2003年2月10日

e-ケアタウンプロジェクトでは、モニター対応連絡網を設け、緊急時の対応について次のように取り決め、実行するものといたします。

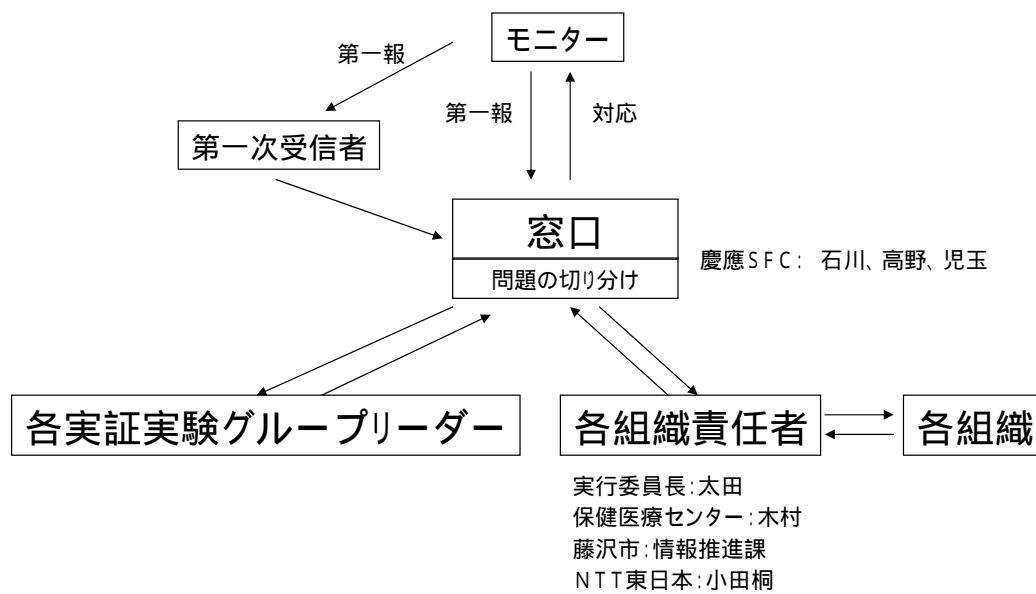


図 3.3-2 e-ケアタウンプロジェクト モニター対応連絡網

添付 3.3 - 1 e-ケアタウンふじさわ実証コンソーシアム規約



e - ケアタウンふじさわ実証コンソーシアム規約

(名称)

第1条 本コンソーシアムは、「e - ケアタウンふじさわ実証コンソーシアム」と称する。

(目的)

第2条 本コンソーシアムは、総務省の「インターネット基盤技術の高度化（e！プロジェクトの推進）事業」を基に、介護・福祉等分野におけるITの高度利用の実践による「e - ケアタウンプロジェクト」（以下、「本プロジェクト」という。）を実施し、看護と介護がゆきわたり、安心して暮らせるまちづくりの進展に寄与することを目的とする。

(業務)

第3条 本コンソーシアムは、前条の目的を達成するため、次の業務を行う。

- (1) 調査・研究及び実証実験業務
- (2) 国等関係機関との連絡調整業務
- (3) その他目的達成のために、必要と認められる業務

(会員)

第4条 本コンソーシアムの会員は、第2条の目的に賛同する地方公共団体、公益法人、大学等研究機関及び企業等とする。また、必要に応じて協力会員をおくことができる。なお、会員及び協力会員としての本コンソーシアムへの入会は、運営委員会で決定するものとする。

(運営委員会)

第5条 本コンソーシアムの組織運営に必要な事項の意志決定機関として運営委員会を設置する。また、業務実施のため運営委員会の基に実行委員会及び各種分科会等を設置することができる。

- 2 運営委員会は、会員の代表者等の運営委員で組織する。
- 3 運営委員会は、第3条に掲げる事項を審議する。

(役員)

第6条 運営委員会には次の役員をおく。

- ・運営委員長 1名
- ・副運営委員長 3名

2 役員は、運営委員の互選とする。

3 役員の任期は本コンソーシアム設立の日から本プロジェクト終了の日までとする。

4 役員は、辞任の場合においても、後任者が就任するまで、その任にあたるものとする。

(役員の仕事)

第7条 運営委員長は、本コンソーシアムを代表し、その業務を統轄する。

2 副運営委員長は、運営委員長を補佐し、運営委員長に事故あるときは、その職務を代行する。

(事務局)

第8条 本コンソーシアムの業務を遂行するため、事務局を設置する。

(補足)

第9条 その他本コンソーシアムの業務を処理するため必要な事項は、運営委員長が別に定める。

(附則)

この規約は、本コンソーシアムが設立された日(平成14年10月9日)から施行する。

添付 3.3 - 2 学生スタッフ 誓約書

誓 約 書

2003年 1月 日

e - ケアタウンふじさわ実証コンソーシアム 運営委員長 吉野 肇一 殿

e - ケアタウンプロジェクトの学生スタッフとして業務を行うにあたり下記の事項を遵守および了承することを、ここに誓約いたします。下記の事項に違反した場合の処置は運営委員長の決定に従います。

1. 本業務は、e - ケアタウンプロジェクトの推進に寄与し、市民モニターのためのサポートを行う業務であることを理解し、これを誠実に遂行いたします。

2. 本業務の遂行にあたり、文書あるいは口頭で行われた指示には、必ず従います。

3. やむを得ない事情により、モニター宅訪問など委託された業務を遂行できなくなった場合には、すみやかに、担当教員または慶應義塾大学 SFC 研究所内 e - ケアタウンふじさわ実証コンソーシアム事務局（月～金 9：30～17：30 0466-49-3618）に、電話連絡をいたします。

4. 市民モニターのプライバシーに類する事柄（氏名、住所、電話番号、家族構成、介護の状況など、訪問等の際に知りうる情報）は絶対に口外いたしません。

所属学部・学年

_____ 学部 _____ 年
氏名

_____ 印

住所 〒 _____

電話番号（業務中の連絡先となる携帯電話番号）

_____ Eメールアドレス

3.4 実施計画

3.4.1 2002年度 全体スケジュール(2002年9月~2003年3月)

	H14年 9月	10月	11月	12月	H15年 1月	2月	3月
作業スケジュール							
実証実験計画立案 入札関係	9/3 開札(14:00)						
モニター関係	説明書・同意書作成		モニター宅訪問 11/25~12/19		機器操作などに関するモニターサポート (3月以降も継続して実施)		
予備調査	e!介護(e-介護)予備調査 11/22 発送、12/6 回収		e!ヘルスアップ予備調査 → 1/10~17実施 e!ファミリーケア予備調査 → 1/29発送、2月回収		e!市民健康講座予備調査 1/6~9発送、1/20までに回収		
実証実験	9/30 研究倫理委員会審査申請書提出						
mtg.	10/9 e-ケア運営会議		11/26 実証mtg.		12/18 実証mtg.		
視察	各プログラムで個別mtg.を実施						
視察	10/2 視察(葛尾村)						
次年度提案検討	11/20 次年度計画に関するブレインストーミング				次年度案検討期間		3/7 次年度計画mtg.
広報関係	10/25 市長会見(プレス発表)		ORFにてプロジェクトの発表(実証実験概要の説明)		3/5 総務省広報取材(e-ケアスタジオ) 3/11 プレス発表(e-ケアスタジオ)		
制作物案 (含 報告書作成)	ロゴ作成 Web作成 募集パンフレット作成 説明書作成 同意書作成 四者覚書作成 コンソーシアム規約作成		Web必要に応じて随時更新 パネル作成 シール等必要であれば作成		報告書作成		
定例報告会	9/19 第1回定例会 10/17 第2回定例会 11/14 第3回定例会 12/12 第4回定例会						
運営委員会	10/9 第1回運営委員会				2/10 第2回運営委員会		3/26 報告会
	11/22,23 ORF				2/28~3/1 産学交流テクニカルフォーラム		3/14~16 NETLIFELIUM

3.4.2 e!ヘルスアッププログラム実験(12月~3月 詳細スケジュール)

	12月			1月				2月				3月					
	2-6	9-13	23-27	30-3	6-10	13-17	20-24	27-31	3-7	10-14	17-21	24-28	3-7	10-14	17-21	24-28	
実験開始前																	
モニタ募集	→ (終了)																
システム開発物品				→ (1/28まで)													
運用方法検討・決定				→ (1/28まで)													
実験説明書				→ (1/28まで, 1/29以降モニタ配布)													
機器操作説明書				→ (1/28まで, 1/29以降モニタ配布)													
予備調査 実施				→ (1/10~17実施)													
実験開始後																	
予備調査 分析								→ (2/中旬まで, 結果を事後アンケートに反映)									
運用(生体情報蓄積等)																	
IPv6エアロバイク																	
納品								← (納品:1/29から2月1週まで)									
試用								←				→ (2月中旬から3月にかけて実施)					
実験												→					
情報表示用PC								← (納品:1/29から2月1週まで)									
QOS検証一斉実験																	
												→ (2月末から3月にかけて実施)					
事後アンケート作成												→ (2/中旬まで)					
事後アンケート・ヒアリング												→ (3/上旬まで)					
事後アンケート分析												→ (3/中旬まで)					

3.4.3 e!ファミリーケアプログラム実験(12月~3月 詳細スケジュール)

	12月			1月				2月				3月					
	2-6	9-13	23-27	30-3	6-10	13-17	20-24	27-31	3-7	10-14	17-21	24-28	3-7	10-14	17-21	24-28	
実験開始前																	
モニタ募集	→ (終了)																
システム開発物品				→ (2/2まで)													
運用方法検討・決定				→ (2/2まで)													
実験説明書				→ (2/2まで, 以降モニタ配布)													
機器操作説明書				→ (2/2まで, 以降モニタ配布)													
予備調査 実施				→ (1/29発送)													
実験開始後																	
予備調査 分析								→ (2/中旬まで, 結果を事後アンケートに反映)									
事前ヒアリング・アンケート実施																	
												→ (2/3~1/2の間 各モニター 1回実施 (訪問による))					
運用(生体情報蓄積等)																	
IPv6ベッドパッド																	
納品								← (2/3から納品開始)									
試用								←				→ (納品後から試用開始)					
実験												→ (2/15~3/5まで, 3日間の実証実験を, 各モニター毎に実施)					
IPv6-IAF装置																	
納品								← (2/3から納品開始)									
試用								←				→ (納品後から試用開始)					
実験												→					
IPv6照度計																	
納品								← (2/3から納品開始)									
試用								←				→ (納品後から試用開始)					
実験												→					
IPv6万歩計																	
納品								← (2/3から納品開始)									
試用								←				→ (納品後から試用開始)					
実験												→					
情報表示用PC																	
												← (2/3から納品開始)					
事後アンケート・ヒアリング												→ (2/25~3/7まで)					
事後アンケート分析												→ (3/中旬まで)					

3.4.4 e！介護プログラム実験

(A) e-介護プログラム (12月～3月 詳細スケジュール)

	12月				1月				2月				3月			
	2-6	9-13	23-27	30-31	6-10	13-17	20-24	27-31	3-7	10-14	17-21	24-28	3-7	10-14	17-21	24-28
実験開始前																
モニタ募集	→ (終了)															
予備調査	11月に在宅ケアおよびその情報共有に関するヒアリングを実施(4.3B-2頁参照)															
アンケート発行	11月22日 発送															
アンケート回収	12月5日 回収															
アンケートとりまとめ	→ 分析 →															
システム開発物品	→ (2/2まで)															
運用方法検討・決定	→ (2/2まで)															
実験説明書	→ (2/2まで,以降モニタ配布)															
機器操作説明書	→ (2/2まで,以降モニタ配布)															
ビデオコンテンツ作成																
転倒予防																
シナリオ作成	→ (シナリオ:12月に完成)															
撮影・編集	→ (撮影1/19終了) → (編集2/4終了,納品)															
料理レシピ集																
シナリオ作成	→ (シナリオ:1初旬に完成)															
撮影・編集	→ (撮影1月末終了) → (編集2/3終了,納品)															
情報配信web作成	→ (編集2/9終了)															
事前アンケート作成	→ (1月末完成)															
事前アンケート																
モニタヒアリング	→ (2/3から開発物品設置時等に初回アンケート実施)															
実験開始後																
事前アンケート分析	→ (2/下旬まで,結果を事後アンケートに反映)															
運用(情報配信)	→ (2/10から配信開始) → (3月以降も配信継続)															
転倒予防	→ (2/10から配信開始)															
料理レシピ集	→ (2/10から配信開始)															
運用(生体情報蓄積等)																
IPv6ベッドパッド																
納品	→ (2/3から納品開始)															
試用	→ (納品後から試用開始)															
実験	→ (2/10から開始)															
IPv6-IAF装置																
納品	→ (2/3から納品開始)															
試用	→ (納品後から試用開始)															
実験	→ (2/10から開始)															
IPv6照度計																
納品	→ (2/3から納品開始)															
試用	→ (納品後から試用開始)															
実験	→ (2/10から開始)															
インターネットテレビ会議																
実験	→ (2/10から3Wの間に3回)															
情報表示用PC	→ (2/3から納品開始)															
事後アンケート作成	→ 2/中旬まで															
事後アンケート・ヒアリング	→ (3/初旬まで)															
事後アンケート分析	→ (3/中旬まで)															

3.4.5 e！介護プログラム実験

(B) e-ケア情報セキュリティ (12月～3月 詳細スケジュール)

	12月				1月				2月				3月			
	2-6	9-13	23-27	30-31	6-10	13-17	20-24	27-31	3-7	10-14	17-21	24-28	3-7	10-14	17-21	24-28
実験開始前																
予備調査	11月に在宅ケアおよびその情報共有に関するヒアリングを実施(4.3B-2頁参照)															
モニタ募集(対象者)	→															
モニタ募集(ケアスタッフ)	→															
システム開発物品	→ (2/8以降モニタ宅設定開始)															
運用方法検討・決定	→ (2/7まで)															
実験説明書	→ (2/7まで,以降モニタ配布)															
機器操作説明書	→ (2/7まで,以降モニタ配布)															
実験開始後																
運用(ケア情報蓄積等)	→ (2/18から運用開始)															
ヒアリング用質問作成	→ (2/中旬まで)															
事後ヒアリング実施	→ (3/月上旬まで)															

3.4.6 e！スキルアッププログラム実験（12月～3月 詳細スケジュール）

	12月				1月				2月				3月				
	2-6	9-13	23-27		30-3	6-10	13-17	20-24	27-31	3-7	10-14	17-21	24-28	3-7	10-14	17-21	24-28
実験開始前																	
モニタ募集	→																
予備調査	→																
アンケート発出	11/29 発送																
アンケート回収	→ (12/13回収)																
アンケートとりまとめ	→ (1/6集計完了)																
システム開発物品	→																
運用方法検討・決定	→ (1/31まで)																
実験説明書	→ (1/31まで)																
機器操作説明書	→ (1/31まで)																
ビデオコンテンツ作成	→																
イントロダクション	→																
シナリオ作成	→ (12未完成)																
撮影・編集	→ (撮影:1/29, 編集:~2/2)																
入浴介護-1	→																
シナリオ作成	→ (12未完成)																
撮影・編集	→ (撮影:1/27, 編集:~2/9)																
入浴介護-2	→																
シナリオ作成	→ (シナリオ:12未完成)																
撮影・編集	→ (撮影:2/4, 編集:~2/16)																
入浴介護-3	→																
シナリオ作成	→ (シナリオ:12未完成)																
撮影・編集	→ (撮影:2/4, 編集:~2/23)																
入浴介護-4	→																
シナリオ作成	→ (シナリオ:12未完成)																
撮影・編集	→ (撮影:2/4, 編集:~3/2)																
webサイト立ち上げ	→ (2/3までにup)																
実験開始後																	
運用(情報配信)	→																
イントロダクション	→ (2/3から開始)																
入浴介護-1	→ (2/10から開始)																
入浴介護-2	→ (2/17から開始)																
入浴介護-3	→ (2/24から開始)																
入浴介護-4	→ (3/3から開始)																
(3月以降も各ビデオの配信継続)	→																
実技研修	→ (3/7金曜日実施)																
実技研修レポート提出	→ (3/12まで)																
アンケート実施	→ (3/7まで)																
事後アンケート分析	→ (3/12まで)																

3.4.7 e！市民健康講座プログラム（12月～3月 詳細スケジュール）

	12月				1月				2月				3月				
	2-6	9-13	23-27		30-3	6-10	13-17	20-24	27-31	3-7	10-14	17-21	24-28	3-7	10-14	17-21	24-28
実験開始前																	
予備調査	→																
アンケート発出	→ (1/6～9まで)																
アンケート回収	→ (~1/20)																
データ入力(藤沢市)	→ (1/31まで)																
データ入稿後処理	→																
システム開発物品	→ (1/中旬まで)																
運用方法検討・決定	→ (1/31まで)																
ビデオコンテンツ作成	→																
救命処置	→																
撮影	→ (撮影:11月23日済み, ORFの講座)																
編集	→																
老年看護学会講演	→																
撮影	→ (撮影:11月3日済み, 学会)																
編集	→ (編集)																
コンピューターおばあちゃんの会	→																
撮影・編集	→ (撮影:11月3日済み, 学会講演ビデオ)																
アンケート作成	→ (編集) → (1/31まで)																
サイト立ち上げ	→ (トップページ:2/up)																
実験開始後																	
運用(情報配信等)	→																
救命処置	→																
老年看護学会講演	→																
コンピューターおばあちゃんの会	→																
アンケート実施	→ (2/下旬まで)																
アンケート分析	→ (3/初旬まで)																